



三里塚ユメユニティセンター主催

# 平成三十年度小学生俳句・短歌・川柳コンテスト

## ～高学年の部～



最優秀賞

セミの声 期間限定 目覚ましだ  
でもボタンなし ずつとうるさい  
遠山小学校 六年 木内 颯司さん

セミの声を目覚まし時計にたとえたのが見事。びっしょりと汗をかいてセミの声で目覚める夏。止めたくても止められない、いら立ちがよく分かります。



優秀賞

夏休み 忘れ去られる ランドセル  
本城小学校 五年 山田 心優さん

ランドセルを忘れる楽しい夏休み。いい思い出はできましたか。思い出をランドセルに詰め込んで、二学期も頑張ってるね。



優秀賞

セミのこえ あきかえれば あきになり  
いつかはこえが ものさびしくて  
三里塚小学校 四年 永井 陽芽さん

暑い夏、うるさいセミのこえ。今年は特にいらだちを感じました。しかし、季節の移ろいに伴う、陽芽さんの心の変化が見事に描かれています。



優秀賞

カブトムシ 森に逃がして 学校へ  
三里塚小学校 六年 家久 康汰さん

カブトムシとのお別れ、そして楽しかった夏休みの終わりというダブルのさびしさがよく表現されています。ただ二学期も「頑張るぞ」との決意も感じられます。



コミセン特別賞

うまれたよ なきむしがきて おおさわぎ  
三里塚小学校 五年 白鳥 晃土さん

おとうと？ いもうと？ 家族が増えるって大変ですよ。でも「おおさわぎ」の一語に晃土さんの「うれしさ」が感じ取れるすばらしい作品です。